



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
令和5年度 10月号

一致団結

校長 浅野 謙一

雨天のために延期となった体育大会が、秋晴れの体育大会日和となった10月6日に開催されました。

今年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍以前の学校生活が少しずつ戻ってきました。体育大会も種目数を増やし、コロナ禍前のように1日日程での開催となりました。生徒たちは、旭中学校に入学してからずっとこの新型コロナウイルスに翻弄されてきました。しかし、この新型コロナウイルスによって自分たちの生活を制限するのではなく、みんなで協力しながら、新型コロナウイルスとともに「Withコロナ」の学校生活を築いていってほしいと思います。

旭中学校の体育大会の競技には「全員リレー」と「大縄跳び」があります。この二つの競技は、どちらもクラスの全員が一致団結して力を合わせる事が大切な競技です。人にはそれぞれ一人一人に個性があります。運動が得意で、リレーで活躍することができる人もいれば、運動は苦手で、人を応援することしかできない人もいます。しかし、大切なのは、一人一人が自分の持っている個性を發揮して、それぞれが役割をきちんと果たしながら、一つの目的に向かっていくことです。生徒たちには、体育大会や文化発表会などの行事を通して、普段の学校生活では、気づくことができなかった友達の良い面やすばらしいところを見つけたいと思います。そして、自分自身もどんなことでもいい、ほんの少しでもいいので、良いところやすばらしいところを發揮して、成長できたと実感できるようにしてほしいと思います。



どのクラスも大縄跳びの練習に熱がこもってきた9月の終わりに、校長室にみえたお客様が、運動場に大きく響く掛け声と全員が一生懸命大縄を跳ぶ姿を見て「校長先生、最近の中学生でもこんなに一生懸命練習するんですね」「みんなが大きな声を出して一つの目標に向かって頑張る姿を見ると、なんだか力が湧いて元気をもらいました」と笑顔でおっしゃり、校長室を後にされました。

旭中学校のみんなが一人一人の個性を發揮して、力を合わせる事ができれば、この旭中学校は、笑顔の絶えない明るく楽しい学校になると思います。そして、そんな子どもたちが成長して大人になった時には、日本はきっとすばらしい国になると信じています。

体育大会 ご観覧ありがとうございました

延期になった4日とは違い、まさに体育大会日和の晴天となりました。この日に向けて、暑い中ではありましたが、どの学年・クラスでも一生懸命に準備や練習に取り組む姿を目にすることができました。もちろん当日も、各々が自分の責任を果たし、役割に競技に応援にと躍動する姿が見られました。結果はそれぞれですが、個人としてはもちろん、クラス・学年としても大きく成長できたのではないかと思います。

10月25日(水)には、文化発表会と旭フェスがあります。体育大会の熱が冷めやらぬまま、どのクラスも合唱の練習に熱が入っていると聞いています。旭フェスの準備や有志発表の練習も着々と進んでいるようです。今年度はどんな合唱を披露してくれるのか、どんなフィナーレが見られるのか本番が楽しみです。



総合結果	優勝	準優勝	3位
1年生	A組	F組	H組
2年生	C D組	/	
3年生	D組		